



2014.07.06 Sun.

# 童心くすぐる “憧れ” 集結の祭典 のりものフェスタ in ぷくち

7月4日から3日間、電動ラジコン全日本選手権が金田体育館で行われました。会場には公式のレーシングコースを特設。併設のピット場は出場間近まで調整を行うための工具やバッテリー充電器具などが並び、その作業風景はF-1さながら。決勝では、昨年度の世界チャンピオンを破った石岡優人さん(群馬県)が初優勝。世界選手権出場を手にし、優勝トロフィーと副賞の上野焼大皿が贈られました。

## 電動ラジコンカー全日本選手権大会

兵庫県の「あかし玉子焼ひろめ隊」をはじめ、大分県の「日田やきそば研究会」「佐伯ごまだしょうどん大作戦」、長崎県の「大村あま辛カレーうまか隊!」、地元福岡の「小倉焼うどん研究所」や「田川ホルモン喰楽歩」の6団体が出演し、筑豊で初めて実現した「B-1グランプリ」の6団体が出展し、筑豊か口にできない各地の逸品を求めて行列ができていました。

## B-1グランプリコーナー

## TOYOTA「輝匠」展示

九州7県の伝統工芸品を内装に施された九州オリジナルカスタマイズカー「輝匠(きしょう)」に、この日だけ特別に上野焼創作タンブラーを設置して会場に展示。子どもから大人まで多くの人々が乗車し、伝統と最先端の技術が調和した特別仕様車の魅力に触れながら、九州のものづくり力の高さを肌で感じていました。

## ミニ四駆レース大会

全国大会への出場権をかけたミニ四駆レース。中学生までのジュニアクラスと、年齢制限のないオープンクラスの2部門で、最速の称号を目指して磨き上げたマシンを手に、91人が熱戦を繰り広げました。

## のりものマルシェ & 車両運転体験

全国でも珍しい車両運転体験は、今回も大人気で開場後すぐに予約が殺到。また、へいちく車両を5両連続させて開催した「のりものマルシェ」は、手作り雑貨や顔絵、占いやマッサージなど47店舗が約100名の車内に集結。店とお客さんとのふれあいの場となり、へいちくを身近に感じる新しい可能性を創出していました。

## 折り紙ヒコーキ教室 & JAL 制服体験

折り紙ヒコーキ協会認定指導員であるJAL社員が折り方や飛ばし方を伝授。秘伝の折り方に挑戦し、約100組の親子がコミュニケーションを図りながら、「ものづくり」の楽しさを実感していました。また、憧れの空のユニホームを身にまとい、航空機をバックに記念撮影する親子連れが多く見られました。

## ミニちくまる号 & トレインランド

列車コーナーでは10分の1サイズのへいちく車両「ミニちくまる号」に乗車でき、途切れることのない行列ができていました。また、列車のおもちゃで自由に遊べるプレイランドやトーマスを模したミニチュア列車が走る精巧な模型展示など、鉄道好きにはたまらない空間を演出。

## 自衛隊制服体験 & 車両展示

陸・海・空の自衛隊ユニホームの着用や、実際に公道を走っている自衛隊車両の乗車体験が来場者に大人気。子どもたちだけでなく、大人サイズのユニホームもあり、家族みんなで自衛隊員の気分を満喫していました。

## Interview 参加者の声



西井さん親子(伊方)

雨は残念でしたが、ミニちくまる号やふわふわなど、ドーム内でたくさん遊べてよかったです。また来年も楽しみにしています。



坂本さん一家(飯塚市)

のりものマルシェやB-1グランプリなど、“初めて”がめじる押しのイベントで、家族全員が楽しめる大満足の休日になりました。



堀さん夫妻(神奈川県)

ラジコンの全国大会出場のため、初めて来町しました。のどかな雰囲気が気に入ったので、今度は観光で福智を楽しみたいです。

「キャビンアテンダントになりたい」「スーパーカーに乗りたい」…幼いころ思い描いた憧れ。そんな童心をくすぐる「のりものフェスタ in ぷくち」が7月6日に開催されました。このイベントは日本航空(JAL)・トヨタ自動車九州・平成筑豊鉄道がタッグを組み、のりもの魅力を通して「ものづくり」への関心を高めることが目的。この子どもたちの祭典に、今年はお当地グルメでまちおこしに取り組む「愛Bリーグ」が出演し、さらに九州初上陸の「電動レーシングカー全日本選手権大会」も参戦。あいにくの大雨で集客が見込めなかったにも関わらず、昨年同様約5千人が来場し、子どもたちの歓声が終始会場にこだましました。

メイン会場の金田ドームでは、参加団体が航空機・自動車・鉄道などの、のりもの魅力とものづくりの楽しさに触れ合える空間を創造。筑豊初出展の「B-1グランプリ」がその魅力に厚みを加えました。金田駅裏では「のりものマルシェ」や車両運転体験が行われ、金田体育館で繰り広げられた電動ラジコン界最高峰の熱戦が、来場者を興奮の渦に巻き込みました。

3会場で14種類の創造性豊かな催しが集った、福智でしか実現できない「のりものフェスタ in ぷくち」。子どもたちの無限の可能性を刺激するとともに、観光の町としての軌跡をしっかりと残す一日となりました。